

TPP (環太平洋経済連携協定) 学習会

密室で進むTPPルールづくり

講師 全労連国際局長 布施恵輔氏

消費税増税、大飯原発の再稼働など、国民の願いを裏切り続ける野田内閣は、アメリカに求められるままにTPP（環太平洋経済連携協定）への参加を強行しようとしています。

TPPは、関税を原則ゼロにするだけでなく、金融や投資、医療、労働などの規制や制度の「調和」をめざす、つまり各国の制度の違いをアメリカ流にそろえようというものです。日本が参加することになれば、農業の崩壊だけでなく、食の安全基準の引き下げ、健康保険制度の崩壊、労働者の移動の自由化など、国民のくらしや命にも影響がでてきます。しかも、TPPのルールづくりの交渉は、すでに密室の中で始まっています。今回の学習会には、アメリカで5月に開かれたTPP交渉会場での市民行動に参加した全労連の布施国際局長を招き、TPP交渉の実態とその問題点を学びます。多くの皆さんの参加を呼び掛けます。



開催日時

8月21日(火) 午後6時~

午後6時からDVD「知っていますか? TPPの大まちがい」を上映します。講演は6時30分から。

会場

『エルパーク仙台』(141ビル)

5階 セミナーホール



宮城県労働組合総連合(宮城県労連)

連絡先: 仙台市青葉区五橋1-5-13
☎ 022-211-7002

後援 国民の食糧・農業、健康を守る宮城県連絡会、東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター